



～FAX通信号～

2014.7.1 発行 Vol.62

月刊

政治かわら版

牧島かれん国政報告

発信元: 牧島かれん事務所

* 地元事務所

TEL:0465-38-3388

FAX:0465-38-4400

* 会館事務所

TEL:03-3508-7026

FAX:03-3508-3826

不順な天候が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

国会閉会 6月22日で第186回通常国会が閉会しました。私にとっては2回目の通常国会であり、150日間、97.5%の法案成立率となりました。81件中79件が成立に尽きたと聞いています。この成立率の高さは7年ぶりですが、審議のスケジュールによる前段預め、委員会、部会、自派党内の会議でタイトスケジュールの中、議論してきたからこそ可能になったと数えます。

議員立法では「国政投票法」が成立しました。施行から4年後に投票権を18歳以上とするものです。選挙権を18歳以上とする法制上の措置は今後の課題であり、成年年齢についての議論を続ける必要があります。今の中学生、高校生は政治をどう見ているのか、30代の政治家として私が伝えていかなくてはならないことも考えていきたいと思います。

国務省インターン 米国国務省(日本の外務省にあたる)から若手女性職員が私の事務所へインターンシップに来ています。宇宙政策に力を入れる日本の議員の下で研究したい、との希望でした。私もワシントンにいた時に議員事務所がインターンをしていてこれを思い出して、地元の見聞も十分に伝えようと思ってきました。常にバリエーションがありたいものです。

滋賀県知事選挙 7月13日投票日の滋賀県の県知事選挙の応援に入っています。これまで諸先輩方に応援していただく立場でしたが、今度は自分が赴く側になります。仲間と一緒に頑張って活動したいです。

国の存続を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について等、閉会中も審議が続きます。政府の責務、政治への信頼など大きなテーマに真摯に向きあっています。

この時期は1年計画を期しているもので、お忙しいと思いますが、

衆議院議員

牧島 かれん